

418建築物、構築物を起因物とする死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生 時	死傷災害事例	年 齢	事 故 の 型	小業種	労働 者規 模
1	2017	12	9~10	年末大掃除中に、生産管理室で予想以上に埃が舞ったため、皆にマスクを配ろうと思い慌てて取りに行こうとし、床に撒かれてた洗剤に滑って転び、左手を強打して骨折した。	51	2	11301	30~ 49
2	2017	12	17~18	勤務終了後、駐車場に停めてある車（勤務先の敷地内）へ向う途中で車が発進し、それを避けるために壁側へ移動したところ、側溝で左足を踏み外して負傷した（車との接触はない）。	49	1	140309	300 ~ 499
3	2017	12	22~23	病棟の階段で扉を開けようとした際、強い風圧がかかり、扉を支えきれず、右手2・3・4指を挟んで、右中指末節骨を折った。	55	7	130101	500 ~ 999
4	2017	12	15~16	小包の配達中、配達を終えて敷地内から軽四に戻るときに、縁石に躓いて前方に転倒した。転倒した際に右手から地面につき、右腕を捻り、左膝を打撲し負傷した。	52	2	110101	100 ~ 299
5	2017	12	12~13	売場で商品出しをして作業場へ戻ってきた際に、作業場入口の排水溝の目皿が歪んでいるため、片足が掛かった時に歪んでいる所が浮き上がり、つまずいて転倒した。	66	2	80209	30~ 49
6	2017	12	6~7	業務終了時、会社内の浴室にて入浴中、足を滑らせ、タイル床に転倒し、負傷したものである。	68	2	40201	100 ~ 299
7	2017	12	8~9	宿舍内でゴミ袋（90?）を回収し、外へ搬出する為、正面玄関の扉（外開き）を開けて外へ出ようとした際、強風により扉	56	7	140101	1~9

				が勢いよく開き、右手中指を挟んでしまい、右手中指を創傷および骨折したものである。				
8	2017	11	15～ 16	3人で高床式倉庫の高床の木材を敷き均す作業中に1人が転倒しそうになり、掴んだ木材が倒れて来て、顔面に当たり、顔面からの出血と顔面骨折をした。	69	1	30202	1～9
9	2017	11	11～ 12	トラックの荷物を積み、荷締めするのに荷物の上に上がる時に、バランスを崩したので下に飛び降りた時に負傷した。	45	3	40301	50～ 99
10	2017	11	9～ 10	車通勤で出勤し、車を駐車した後施設の建物に入ろうと歩き出した際、不注意により車止めに躓き転倒した。顔面より転倒し右手を地面について着地した。痛みと腫れが出てきた為、病院を受診した。	59	2	130201	100 ～ 299
11	2017	11	5～6	敷地内で出勤に際し駐車場からタイムカード打刻のため事務所に向かっていった。早朝で霧が深く、足元が見えにくかったため歩道にあった縁石に気が付かず躓き転倒した。転倒の際、アスファルト路面で左足の膝を強打し、左足膝蓋骨を骨折、負傷した。	49	2	80209	100 ～ 299
12	2017	11	13～ 14	約束のお客様宅を退出する際の事故。靴を履くため左足を土間に下ろそうとしたところ、上がり框に指が曲がった状態でぶつけた。左足中指骨折となった。	56	3	90103	300 ～ 499
13	2017	11	23～ 24	現場である道路のケーブルを撤去作業中、撤去したケーブルを両手に持ってトラックに積む際に縁石に躓き転んでしまった。痛みはあったが、その日も仕事をし、何日か様子を見たが、痛みと腫れがひかず病院へ行った。	37	2	30301	1～9
14	2017	11	15～ 16	工場内通路で修理が必要な機械（クレーン振動機、重さ約100kg）を台車に載せて一人で運搬中（本来フォークリフトで運搬するもの）に台車の後輪が段差にかかり、全体が傾いたため元に戻そうと両手で機械を支えようとしたが、台車ごと倒れて道路床と機械の間に右手を挟み負傷する。	56	2	170201	100 ～ 299

21	2017	10	9～ 10	ハンマーにて水抜き管の詰まりを解除後、コンクリート擁壁上を伝って点検座まで移動中、擁壁上に堆積していたスラッジで足を滑らせ4m下の地面に転落し被災した。	53	1	10901	1～9
22	2017	10	21～ 22	依頼された研修会（ロールプレイ大会）に参加の為、開催されるホテルに前日に宿泊。露天風呂に入ろうとした際滑って、風呂へと入る階段に尾てい骨を強打、転倒、骨折していた。	50	2	170202	1～9
23	2017	10	9～ 10	トラックに商品を積み込む作業を終え、接車バースの自動シャッターを降ろし、自分が接車バースから降りようとした際に、足を踏み外し落下。その際、右側から落下した為、右肘を強打する。	50	1	40301	500 ～ 999
24	2017	10	13～ 14	キャディ業務中、18番グリーンからクラブハウスに戻る途中、側溝に足を踏み入れ転倒し、右足を負傷した。	53	1	140301	30～ 49
25	2017	10	18～ 19	営業所内の整備工場のピット上に、車両を止め、点検を行っていた。被災時は18時頃であり、既に周囲は暗かった為、照明は点灯していた。作業が終わったので被災者は帰ろうとして照明を消したが、最後にタイヤの空気圧を確認しようと思いい立ち、まず右後方のタイヤを押し、次に左後方のタイヤを押しようとした際に、ピット上で作業していたことを失念し、深さ1.3m程のピット内に転落し、膝を強打した。	47	1	40301	10～ 29
26	2017	9	15～ 16	厨房内中央の排水溝のふたを清掃のため開けている時、冷蔵庫に保冷剤を片付けるため通った、本人はふたが開いていることは知って注意をしていたが、足が滑り、右足首が入り、しりもちをつく形になり右足を捻挫、右ひじを打撲した。	40	3	140201	10～ 29
27	2017	9	11～ 12	工場に於いて、定時検針を行うためMHPへ行き、検針しようとしたところ、足を踏み外し60cm下の地面に滑り落ち左足首をひねり負傷したものである。	61	1	150101	100 ～ 299
				ビル清掃作業中、屋上にて干し物を片付ける際の移動時（両				100

28	2017	9	12～ 13	手は空)、屋上配管をまたぐ橋脚台座部分につまずき転倒、床面コンクリートで顎を強打した。	68	2	170202	～ 299
29	2017	9	16～ 17	集合住宅新築工事現場に於いて、交通誘導警備作業に従事中、荷降ろしを終えて出発しようというダンプ前方の安全確認の為、小走りで公道に出たところ道路の舗装に段差があり、足を取られ、前方に転倒した時、両手、両膝、胸、顔等を地面で打ち負傷する。	67	2	170201	50～ 99
30	2017	9	13～ 14	福祉専門学校の教室で、介護福祉科2年生「医療的ケアⅢ」の授業中、教壇に上がろうとした際、右足が教壇に引っかかり、バランスを大きくくずして転倒した、同時に右足首上部を強打し、腓骨を骨折した。	53	2	120109	100 ～ 299
31	2017	9	9～ 10	工場において、資材を生産ラインに供給する高さ約3.5mの架台の上での作業中、ハンドリフトにて資材を移動していたところ前方に設置してあった落下防止用パレットに接触したため、荷崩れしそうになった資材を整列(通そうと全面に回りこんだところ)足を滑らせ架台より落下し負傷した。従来高所作業場である架台には全面に安全柵は設けてあるが、現在資材供給機器の増設計画実施のため、架台を拡張したばかりであり、機器納入のため一箇所だけ安全柵を設置しておらず仮の落下防止パレットを設置し、納入後に全面的に安全柵を再設置する予定であった。	20	1	10102	10～ 29
32	2017	9	6～7	被災者が工場裏の出入口シートシャッターで工場内から外へ出るとき、シートシャッターが閉まりウエイトバーに頭をぶつけた。洗浄したクレーを積む台車が不足していたので、2名で外側から台車搬入作業を行っていた。その際、通常のシャッター開閉ではシャッターが閉まることはないが、連続作業していた為、シャッターの開きが悪く被災者が非常用スイッチを使用した。しかし、非常用スイッチは時間制の為	54	6	170101	100 ～ 299

				シャッターが閉まってしまう。その時、被災者が入った為ぶつけてしまった。安全装置が働きすぐシャッターは開いたが、頭部をぶつけた。事故後、安全装置の確認（正常であった）非常用スイッチの使用について指導した。				
33	2017	9	11～ 12	店にて販売就業中、店内準備室を段ボールを持って歩いていたところ、掃除用の水ため場に左膝が落ちてしまい強打する。通常、当該の水ため場はふたが閉まっているが、事故当時は開放されていた。	32	3	170209	100 ～ 299
34	2017	8	17～ 18	当院病室にて、認知症で暴言・暴力的な行動が見られる患者さんの食事介助をしていた際、患者の口にご飯を入れた瞬間、吐き出したため、その勢いで患者の手が顔付近に来た。その際、反射的によけたが勢い余って壁に激突し、背中および腰を強打した。その10分後に痛みが強くなったため病院を受診したところ、腰・背部打撲により、1ヶ月程度の療養が必要と診断された。	46	3	130101	300 ～ 499
35	2017	8	15～ 16	大組D2定盤で鉄工完了ブロック（94t）をD4定盤に移動するため、200tクレーンのワイヤーを玉掛けした。ブロックから地上に降りる時に、中段（1,050mm）の高さでバランスを崩して墜落した。	29	1	11501	50～ 99
36	2017	8	17～ 18	現場作業から戻り、会社倉庫にて、設備工事の際に腰に引っ掛けて使う各種道具を、各棚に後片付けしていたところ、会社倉庫の段差に躓いて右足を引っ掛け、足首を伸ばした。	40	90	30309	1～9
37	2017	8	9～ 10	狭い道路に隣接したコンクリートブロック構造の車庫を、重機による解体作業中に、道路にこぼれ落ちたコンクリートブロックの塊を手作業で除去中、ブロックの上に上部（約80cm）からブロックが落下して、下のブロックとの間で左手人差し指を骨折した（開放骨折、動脈断裂）。	63	4	30202	10～ 29
				ペレット燃料を貯蔵タンク（約3m）に補充する作業中、ト				

38	2017	8	9~ 10	ラックからクレーンでペレット燃料を吊り上げ、位置調整のためクレーンのクラブに縛り付けたロープを引き寄せたとき、ロープが切れて、バランスを崩してタンクから転落し、被災した。	54	1	10409	10~ 29
39	2017	8	4~5	更衣室から物を取り振り返って出たところ、グリストラップの溝に左足がはまり転倒した。グリストラップには、2枚の蓋がされており、1枚は引戸で仕切られて更衣室の床の一部となっているが、他の従業員が清掃の為に更衣室の外側のもう1枚の蓋を外して、その場を離れた。しかし、その際に声かけをしなかったため、室内の当人は気づかず、蓋があると思って踏み込んでしまった。	53	2	140201	1~9
40	2017	8	8~9	ゴミステーションで作業中、ゴミ袋を車に積み込もうと踏み出したとき、道路の側溝（段差）に足をとられ負傷した。	40	19	150109	30~ 49
41	2017	8	22~ 23	下り78キロポスト路肩にて救援作業を行ない、お客様の落し物を探しに非常電話へ向う際、路肩の轍に足を取られ、転倒し右手を着いた弾みに右肩を脱臼した。	45	2	170209	10~ 29
42	2017	7	19~20	新築工事現場において現場作業終了後、片付けをしている際、玄関ポーチ（基礎部）と地面の段差約50cmを、工具箱を持って降りようとして左足首をひねった。靭帯損傷と診断され、左足首を固定した。	18	1	30202	100 ~ 299
43	2017	7	3~4	工場内に荷物を搬入中、荷物の確認のためリフトから下りた際、周りが暗かったため、道路上にあった穴に気付かず、落下してしまった。	32	2	40301	10~ 29
44	2017	7	3~4	お客様を自宅まで送り、車を降りた際、暗くて見えず、誤って側溝に落ちた。	53	1	170209	30~ 49
				4.2?の角タンクの側面に20Dを取り付ける作業中、踏み台が近くに無かったので、タンクの2段目のへりに足を乗せ、片腕				

53	2017	6	10～ 11	生産し終わった製品の余ったカミソリを片付けるためにキット場へ向かおうとした際、床に置いてあったパレットに右足を躓き、右肩から床へ転倒し、右肩を骨折、左膝を打撲した。床にあったパレットには気づいていなかった。	51	2	11201	100 ～ 299
54	2017	6	9～ 10	車輛棚卸しの為、工場内に停車してあった車輛の情報確認を行っていたところ、誤ってピットに落下し受傷した。	59	1	11502	300 ～ 499
55	2017	6	9～ 10	当社玄関に入ろうとした時、玄関脇にある石段に躓き転倒した。左足皿の部分に強打し、左足膝高原骨折をしたものである。	51	2	80209	50～ 99
56	2017	6	11～ 12	当社請負先の建築現場にて、1階部分にかけた脚立の下部部分から降りる時に足がぶつかってしまい、左足を負傷した。	63	3	30202	1～9
57	2017	5	11～ 12	店舗改装中、天井裏にて配線を確認中に天井が抜け落ち、下に落下し着地したときに背骨を圧迫し、負傷した。	31	1	140201	10～ 29
58	2017	5	16～ 17	引越作業中、窓の掃き出しから後ろ向きに降りた際、右足で安全靴を踏んだことでバランスを崩して転倒した。その際、右手を地面について親指を骨折した。	39	1	40301	30～ 49
59	2017	5	10～ 11	お客様宅へ見積りに行く途中、高さ30cm位のブロック壁を乗り越える時に躓いて左肩より転倒した。	41	2	30309	1～9
60	2017	5	8～9	水産冷凍庫内にて過分の材料を棚に戻し、冷凍庫を出ようとした際、前日行われた霜取りで滑りやすくなっていたのに気付かず、滑って仰向けに転倒し、腰部を強打して腰椎圧迫骨折を負った。	53	2	80201	100 ～ 299
61	2017	5	9～ 10	15tユニック車にて製品7本を納入する際、ベースの上へ2本降ろしてから続けて3本目を降ろすとき、製品天端部分に乗りラジコンを操作しながら降ろしていたところ、蓋掛かり部分から足を踏み外して落下した。	49	1	40301	1～9

62	2017	5	13～ 14	南庭にて外周清掃中、溝に足を取られ転倒し、左膝から左脛部分、胸部を打ちつけた。	80	2	150101	300 ～ 499
63	2017	5	17～ 18	デイサービスの利用者を自宅に送るため送迎車後方の車椅子用スロープを操作していた際、スロープのエッジに右足の脛をぶつけ、裂傷を負った。	50	3	130201	10～ 29
64	2017	5	13～ 14	荷物の配送後に車両に戻る際、玄関先にて足を踏み外し転倒しかけたとき、側にいた人に支えられて倒れなかったが、足に痛みを感じた。	50	19	40301	30～ 49
65	2017	4	9～ 10	新築工事現場にて棟上げの準備をしていたとき、移動しようと基礎土台部分に乗った時に滑って、胸を強く打った。	66	2	30202	1～9
66	2017	4	18～ 19	配達時、アパートへ駐車して2階の配達先へ向かう途中、左腕で荷物を持ったまま段差につまずき、右腕からアパート階段入口へぶつかり右腕を負傷した。	48	3	40301	30～ 49
67	2017	4	10～ 11	製造三課菓子パン七係の洗い場で、長靴を履いて生地取り箱を洗浄した後、後方の置き場に両手で箱を持ち置くときに、被災者が予め床面R部分の汚れを浮き出さず目的で洗剤をつけていた床面R部分に右足を踏み込み、前方に滑り転倒した。その際に洗い場のフレームに右膝を強打した。	59	2	10104	500 ～ 999
68	2017	4	15～ 16	主担当は出荷場であるが、当日は他部署メレンゲ作業応援をしていた。作業終了後に本来の部署に戻る際、水分補給の為本来通らない経路（メレンゲ室→オープン前→充填室→仕込み室→サニタリー）を通ったが、仕込み室が清掃後の為床が濡れており、誤って滑り転倒してしまった。その際に右肩を床に打ちつけ、腱が引っぱられて内出血をおこした。	37	2	10104	50～ 99
69	2017	4	11～ 12	資材館外レジ小屋において作業中、レジ小屋から出ようとしたところ、10cmの段差で足を滑らせ捻って捻挫をしてしまい痛みと腫れが生じた。	57	19	80209	30～ 49

70	2017	4	11~ 12	当社敷地内にある駐車場の屋根の点検修理のため屋根に上っていた時に、屋根の腐食した部分に足を乗せてしまい、体の重みで屋根が陥没し、そのまま下のコンクリート部に落下して左足踵部を骨折した。	43	1	40301	50~ 99
71	2017	4	11~ 12	倉庫ではしごを使用して、ラックの上の在庫を確認していたところ落下し、左後頭部と左胸を強打した。	50	1	40301	100 ~ 299
72	2017	4	10~ 11	清掃中浴室から脱衣所へ移動の際、敷居につまずき転倒し、左手をついた際に手首の開放骨折を負った。	69	2	150101	500 ~ 999
73	2017	3	15~16	事業所内にて、サービス提供に行こうと立ち上がり、1歩踏み出した時、左側の壁の角に左足の小指を強打した。座り込んで自力で立ち上がることができなくなり、その後、骨折と診断される。	53	3	130201	300 ~ 499
74	2017	3	12~13	ベッドメイク中、シートを取り換える際にシーツに絡まり、足元がふらつきバランスを崩し、左手首を壁に強打し受傷した。	26	3	150101	500 ~ 999
75	2017	3	13~14	お客様宅の給排水工事にて、浴槽配管工事の準備で露出配管の材料を確認するために、エアコン室外機用の鉄板に上がった時に足を踏み外して、1階の倉庫の屋根に落下し、さらに地面アスファルト駐車場に転落し、右肩打撲・鎖骨骨折・腰打撲を負った。	59	1	30203	1~9
76	2017	3	17~18	弊社が運営している古紙回収の回収ボックスの設置現場で、回収ボックスのキャッチ部分の塗装補修をしようとキャッチを外したとき、手に握っていた塗装用のペンを落としてしまい、屈んで拾おうとした瞬間にボックスのアオリ部分が落下し、背中を強打した。	35	7	10609	10~ 29

77	2017	3	13~14	社内運動会のソフトバレー競技中に、ジャンプをして着地した時に挫き、右足の踝周辺の靭帯を損傷した。	23	19	10309	10~ 29
78	2017	3	11~12	ビル駐車場にて配送業務中、余配車両荷台より荷物を取り、荷台から降車するとき、車止めに足をとられ足首を捻った。	38	19	40301	30~ 49
79	2017	3	16~17	解体工事の現場において、1階部分で片付け作業をしている時に、高さ約6メートル位の2階部分に立てかけていた養生パネルが落下し、被災者の左手親指が当たって負傷した。	27	4	30209	1~9
80	2017	3	23~24	スマート料金所勤務中、上り線入口車線に大型車のETC車両が進入した際、大型車の左アンダーミラーがETC開閉バーに接触した。処理をするため本人は料金所事務室から徒歩で入口車線へ向かう途中、大型車に気を取られ、途中の側溝に右足がはまり転倒した。	56	2	40409	1~9
81	2017	3	13~14	2階屋上で現場待機中に、被災者が3階ペントハウスに設置してある空中線（アンテナ）の角度を確認しようと後ろ向きに後退した際、パラペットに接触してバランスを崩し、2階屋上から地上1階に転落した。	20	1	30301	1~9
82	2017	2	13~14	生コン工場現場で伝票をもらう為にトラックから降りた際横にあった側溝に右足が落ち左足を捻って足の甲にひびが入った。	51	1	40301	10~ 29
83	2017	2	7~8	当社敷地内駐車場において、車を停め出社しようと数メートル歩いていたところで車の施錠を行ったかどうか気になり、車に戻ろうとした際、慌てて振り向き、バランスを崩し足を捻って転び負傷した。	33	2	150109	30~ 49
84	2017	2	13~14	施設内デイルームで棚に登り壁の掲示物を取り外し、棚から降りるため、椅子の座面に足をかけたところ、椅子が傾きバランスを崩して背面から床に倒れ負傷した。	64	1	130201	10~ 29
				家庭用灯油ボイラーに灯油補給中、雨天時地面（コンクリー				

85	2017	2	10~11	ト) に生えたコケで滑り左肩部を強打し打撲を負ったものである。	58	2	80204	—
86	2017	2	11~12	可燃ごみ収集作業中、ごみ集積所で排出してあるごみを収集車へ積み込んでいた。ごみを手を持ち、積み込みをしようと収集車へ向かう際に集積所と道路の境目にある段差に右足を乗せて捻ってしまった。右足の内側部分に強い痛みを感じ、体を支えられなくなり、前かがみに倒れ込みうずくまった。怪我したことを相方社員に伝え、収集車に乗って勤務先へ戻った。	44	19	150103	—
87	2017	2	16~17	当社施設内において、帰宅しようとしていた時に、職員用出入口の段差（10cm程度）に左足つま先をぶつけてしまい負傷した。	67	3	130201	1~9
88	2017	1	16~17	事務所裏手の倉庫に書類（ファイル）を片付けに行く途中、側溝と通路の段差（約2cm）に足を踏み外して左足首を脱臼し、右ヒザから転倒して膝蓋骨骨折を負った。	40	2	140201	—
89	2017	1	8~9	車両を停車させコンビニに買い物に行くため下車し歩行中、歩道との段差につまずき転倒し、左膝蓋骨を骨折した。	66	2	40201	50~99
90	2017	1	20~21	駐車場の側溝に足を取られて右手をついたところ、右手首を骨折した。	53	2	11403	100~299
91	2017	1	5~6	積込作業を終了し扉を閉めた際、バース上部の扉固定具が落下し、頭部に当たった。社内での取り決めにおいて、倉庫内作業時にはヘルメットか帽子を着用することとなっているが、事故発生時、積込が終了して着用していたヘルメットを車輛ボックス内に仮置きしていたため、本人は着用しておらず、衝撃で頭部を裂傷した（3針縫合）。	40	4	40301	50~99
92	2017	1	16~17	現場の提体水通し部で出来形測量中にバランスを崩し、高さ3.5m~4.0mの溪床部に落下した際に、首を強打した。	42	1	30108	1~9

93	2017	1	5~6	道路にて、退職者との業務引継中、トラック後部に向かう際、仕事の事を考えながら歩行中、道路脇の用水路に誤って右足を踏み外し落下し、用水路の土手に胸を打ちつけてしまった。	40	1	11703	100 ~ 299
94	2017	1	17~ 18	交通誘導警備中、ダンプ後方の車両を止めようと動いた際、路面の仮舗装の段差につまずき転倒し、左膝を強打し、左ひざの皿が割れた。	65	2	170201	50~ 99
95	2017	1	8~9	作業員が作業場所を確認して物を取りに移動する時、斜面を横に歩き、コンクリート斜面の一部（左上右下）に水が凍っているところがあり、右足を滑らせ左足に体重がかかり、左側をひねり、左足脛骨を折ってしまった。	60	1	30109	—
96	2017	1	11~ 12	1階地中梁コンクリートの上で、ピット内の角材をロープで引き上げ作業をするとき、親綱の準備中につまずき、反対側のピットの下にうしろ向きに転落し、その際に尻を打ち、左手をついたため左手首を骨折した。	66	1	30201	1~9
97	2016	12	16~ 17	SSにてトラックの給油のため入店停車し、車外へ出た時に地面に段差があり、ふらつき躓いた。	31	3	40301	10~ 29
98	2016	12	13~ 14	施工済みの急傾斜施設の境界測量を2名で行っていた。午後からの観測作業を始めるにあたり、1人は下でトータルステーションを設置し、1人はコンクリート法枠の境界まで登っていた。その時、作業員2名ともヘルメットを着用しておらず、高所に登った作業員は安全帯も着用していなかった。観測をする準備ができ、開始する直前に直高約6.7mの位置から転落した。	55	1	170209	1~9
99	2016	12	23~ 24	段替え時にサブプレート台車とダイセット移動装置が干渉する恐れがあった為、台車を移動しようとした。床面より高さ50cmのダイセット移動装置から、まず左足を高さ25cmの踏み	42	2	11502	100 ~

				台にのせ、次に右足を床面に着地させようとした時、レールの上に右足がのり、右足を捻って転倒した。				299
100	2016	12	14～ 15	客先で荷卸し作業中、トラック荷台のサイドドアから地面に降りる際、真下に段差があったため、うまく着地できず、右足のかかとを地面に強打して受傷した。	63	19	40301	30～ 49

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各起因物における死傷災害100事例 \(-2017年\)](#)に戻る。